

yamabuki i 通信

yamabuki は、『小学校でのパソコン授業』の URL より
パソコン室から 不定期 発行

No. 1 2 6
平成 20 年 2 月 18 日
情報教育アドバイザー
広田 さち子

表示の拡大・縮小

マウスでなければできないコンピュータ操作は、ほとんどなく、また、キーボードで操作する(ショートカットキー操作)方が楽で速く確実であると思っても、やはり、マウスで操作することもわかりやすく、便利です。

私が最近使うようになった、とってもお気に入りの(キーボード・プラス)マウス操作が、この、表示の拡大・縮小です。

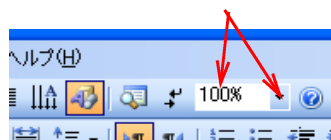
操作は至って簡単、片手で Ctrl キーを押さえたまま、マウスの中ボタンをコロコロするだけです。

向こうへ転がせば表示が拡大され、逆だと縮小されます。10%刻みの場合が多いようですが、転がし具合やアプリケーションでまちまちです。

コンピュータの画面をプロジェクタでスクリーンに映して授業を進めるときに、大きく見せたいと思えば、簡単に拡大できるので便利です。

この操作は、ワードやエクセルの画面だけでなく、印刷プレビューや他のアプリケーション、インターネットの画面など、ほとんどどんな画面でも同じにできるので、試してみてください。(地図ソフトや、インターネット上での地図表示は、画面表示とは違ってコロコロ自体が拡大・縮小の機能を持っている場合があります。このときは Ctrl キーはいりません。)

ワードやエクセル、一太郎などで表示倍率を変えるときは、メニューの「表示」か、画面に100%などと表示されている場所をマウスでクリックして、他の倍率を選ぶか、マークをスライドさせたりします。数値を選んで表示倍率を設定できますが、これはけっこう細かい作業で、神経を使う面倒な処理です。だいたい倍率でいいのなら、マウスコロコロが便利です。



ワード 2003



ワード 2007



一太郎 2007

画面がいくつかの部分(ウィンドウ、フレーム、ペインなど)に分かれているときにコロコロがどの部分に作用するかはアプリケーションなどによって異なりますので、念のため表示を変えたい部分を1回クリックしてからコロコロするのが安心です。